



## 二十八年ぶり大修復

四国霊場第二十九番札所因分寺で、国の重要文化財である金堂の屋根のふき替えと光明殿の新築を祝って、一月二十一日、落慶法要が行われました。  
法要には、関係者や檀家ら約二百人が参加。きれいな金堂と光明殿に喜んでいました。  
ふき替え工事は昨年三月から行われていたもので、二十八年ぶりの大修復。サワラ材の薄い板を幾重にも重ねたことから、ふきの新しい屋根が姿を見せています。また、光明殿は位はいを築るお堂ですが、老朽化にともない、今回の新築となりました。

## ビジネスの新拠点へ着工

一月三十一日、南国オフィスパーク事業の起工式が行われました。同事業はなごく・こうち地方拠点都市地域の重点事業の一つで、市北部の領石、植野、久礼地区約二十ヘクタールを開発し、ソフトウエア企業など製造業以外のオフィスを誘致しようというものです。同区域内には、領石川を生かした親水公園や道路などの公共施設も整備され、平成十年にはゆとりと個性のある企業団地が完成する予定です。  
また、この日は誘致第一号となる、四国銀行と医薬品卸業のヤクオーの進出協定も結ばれました。



## 三年ぶりV



二月五日に行われた高知県市町村対抗駅伝で、南国市Aチームが見事優勝。三年ぶり四度目のVとなりました。  
スタート時は絶好の駅伝日和。二区でトップに立った南国市Aはその後も快走折り返しとなる四区からは、強い風に悩まされながらも、二位高知市Aに3分57秒差をつけてゴールイン。昨年優勝の高知市Aに雪辱を果たしました。  
〔前列左から 西原史恭・中西俊文・恒石新治・山中正明 後列左から 宇賀勇介・西内竹彦・岡崎監督・岡田南国市日監督〕  
(写真提供 高知新聞)

## たまるか 長い

二月十六日、市立長岡夏部保育所で園児や保護者ら約百人が参加して、長さ二十メートルの巻き寿司作りをチャレンジしました。



これは、米漬費拉大車業の一環として行われたもので、用意された材料は、お米一斗二升、のり二百枚、かんぴょう百五十メートル分、卵六十個など、二十メートルともなるじょうはんを

広げるだけでも一苦労。材料を敷き詰め、みんなでタイミングを取りながら巻きました。でき上がったものはなかなかのもの。参加者らは自分たちで作った巻き寿司を味わいました。



▲1月21日、南国市内や高知市などから180人余りが参加して、南国市ロードレース大会が行われ、県農業技術センターをスタートした参加者は、健脚を競いあいました。



▼1月29日に行われた生涯学習フェスティバルでは、八坂神社の三番叢(さんばそう)やママさんコーラスなど郷土文化の発表が行われたあと、「明るい高齢者の時代を」と題した、森木研恵さん(土佐女子短大講師)の講演がありました。



▶老人保健施設「夢の里」では、リハビリに音楽を取り入れる音楽療法を実施しています。これは、音楽にあわせて体を動かすとともに、心も豊かにしようというものです。



▲国司の任を終えた祝賀之が帰京するさい、大雨に降られ大津に滞在し、地元の人々と交流を深めたことを記念した土佐日記大津出張部が、2月11日に行われました。



▶二月五日、国分川で初春の風物詩を堪能し、県や市関係者、地元企業や住民の方々など約七百人が参加して行われました。

▼2月12日、市長杯ゲートボールが行われ、小学生チーム2チームを含む24チームが参加し楽しみました。あいにく途中から雨となり、決勝トーナメントは19日に行われました。



▼2月12日、南国市駅伝競走大会が行われ、4部門に45チームが参加し、日ごろの練習の成果を大いに発揮、大会新記録も続出しました。



◀二月十二日、田村の蔵福寺で春祭りが行われ、恒例の野良試合に市内外の豆剣士約二百人が参加しました。



▲2月12日、市長杯スカッシュバレー大会が行われ、41チームが熱戦をくり広げました。だれでも気軽に楽しめるということで、はば広い年齢層からの参加がありました。



◀2月17日、両国市子ども会連合会の人形劇キャラバン隊が市内の小学校を訪問。「うらしまファンタジー」と題した手作りの人形劇に子どもたちは大喜びでした。



▲2月12日、南国市バスケット大会が行われ、選考の結果、市長賞以下各賞が決定しました。また、選考会後、県バスケット連盟副会長森洋彦さんの講演がありました。

